

第5回企画展

冬の酒田の民俗文化Ⅱ

年中行事に見る

黒森歌舞伎



写真 松本鶴子氏

しばや(芝居)を支える人々の一年

令和7年

2月8日 **土**

4月13日 **日**

◆午前9時～午後4時30分
(最終入館は4時まで)

◆休館日/月曜日
(月曜日が休日の時は翌日)

入館
無料

■関連企画

記念講演「黒森歌舞伎の魅力について」

【日 時】 令和7年2月8日(土)
午後1時30分から

【講 師】 黒森歌舞伎座長 五十嵐良弥氏
【場 所】 酒田市文化資料館光丘文庫

演目解説「近江源氏先陣館」

【日 時】 令和7年2月16日(日)
午後1時30分から

【講 師】 黒森歌舞伎座員 川島優史氏
【場 所】 酒田市文化資料館光丘文庫

学芸担当職員による展示解説

【日 時】 令和7年3月1日(土)
午前10時30分から

【場 所】 酒田市文化資料館光丘文庫

酒田市文化資料館光丘文庫

(酒田市総合文化センター内)

こう きゅう

〒998-0034 山形県酒田市中央西町2番59号

TEL: 0234-22-0551 FAX: 0234-22-0612

mail: bunkashiryoukan@city.sakata.yamagata.jp



年中行事に見る黒森歌舞伎

酒田市内には多くの民俗芸能があり、ほとんどは春祭り・秋祭りの奉納芸能として各地区で伝承されています。その中でも厳しい冬の最中に行われている民俗芸能として黒森歌舞伎があります。

黒森歌舞伎は、酒田市黒森地区に享保年間（1716～1736）に伝えられた歴史ある地芝居で、旧暦の小正月にあたる2月15日・17日に鎮守日枝神社に奉納上演され、娯楽の乏しかった時代、しかも寒く厳しい冬を過ごす人々の大きな楽しみでした。

江戸時代、庶民が歌舞伎を演じるには、その土地の祭礼や年中行事と結びついて、神仏に奉納することが必要でした。

現在、全国で行われている地芝居は200を超えていますが、人口減少や担い手の不足といった社会の変化とともに、その目的も地域村おこしの観光イベントなどに形を変えてきているものも多いのが実情です。

そのような中で、黒森歌舞伎には伝承していくための信仰にもとづく様々な年中行事があり、地区の人々によって今なお続けられています。

今回は、黒森歌舞伎の実施組織である妻堂連中^{さいどうれんちゅう}に伝わる史料や年中行事を描いた絵巻、記録写真などによって黒森歌舞伎の1年を各行事毎に紹介します。

今回の展示が黒森歌舞伎へのご理解を深めていただき、そして市民の皆様それぞれに縁のある地域の伝統芸能に思いを致す機会となれば幸いです。



黒森芝居の絵暦



妻堂帳（写真 松本鶴子氏）



依藤太幕

黒森歌舞伎 正月公演

2月15日(土)・17日(月)

会場：黒森日枝神社境内 入場無料

黒森歌舞伎 酒田公演

3月2日(日)

会場：酒田市民会館「希望ホール」

【入場券】前売り券1,000円
当日券 1,500円(未就学児は無料)

【交通のご案内】

- JR 羽越線酒田駅より徒歩約14分
- 日本海東北自動車道 酒田ICより車で約12分

酒田市文化資料館光丘文庫

〒998-0034 山形県酒田市中央西町2番59号
(酒田市総合文化センター内)

TEL: 0234-22-0551 FAX: 0234-22-0612

mail: bunkashiryokan@city.sakata.yamagata.jp

